

一般質問

7議員が提案 町政を問う

一般質問は、議員の日常活動と調査・研究、町民の声や自身の考え方をもとに、町長や教育長などの方針を問うものです。



一般質問事項

質問者	件名	頁
水野千代子	1 医療ウイッグなど購入費補助を 2 重層的支援体制整備事業の創設 3 SDGsにおける健康づくりを	9
都築 一三	1 安全なまちづくりを	10
廣野 房男	1 交差点に歩行者待避場所確保を 2 六栗西山林道開設へ町の支援を	11
田境 毅	1 モビリティ社会の課題解決を 2 ゼロカーボンシティ表明を	12
稲吉 照夫	1 社会実験直行タクシー中止を 2 町民の意見が反映できる議会に	13
黒木 一	1 区役員・委員へのサポートを 2 小・中学生を守る施策を	14
丸山千代子	1 いつでも無料でPCR検査を 2 加齢性難聴に補聴器購入補助を	15

質問者、答弁者それぞれ30分以内の制限時間。

通学路、「コミュニケーション

町外で働いていたため、これまでなかなか町政について直に知る機会がありませんでした。今回、初めて傍聴しましたが、どの質問も興味深く聞くことができました。



しばた まさのり
柴田 昌典さん

初めての傍聴を終えて

バス、区の役員といった私達の生活に密接に関わることはもちろんのこと、SDGs、カーボンニュートラル等の世界共通の課題に対して、町がどのように関わっていくかという内容まで、幅広く議論が交わされており、思わず身を乗り出して聞き入っていました。今後も他人事と思わず、注目していきたいです。

議会だよりでは、質問と答弁を要約してお伝えします。詳しい内容は、会議録を幸田町立図書館で閲覧いただけるほか、幸田町議会ホームページでも公開しています。また、議会の映像はYouTubeで配信しています。

議事録



議会映像





みずの ちよこ 議員
水野 千代子

医療ウイッグなど購入費補助を

総合的な補助制度を検討する



「第3期愛知県がん対策推進計画」が中間年度を過ぎた。がんの早期発見・治療、がん患者のライフステージに応じての支援など問う。

問 ※AYA世代の支援・相談体制は。

答 健康福祉部長▼個別受診を勧めたり、研修会を開催している。

また、年齢を下げて年一回受診できる体制を整えている。

問 小中学校のがん教育の現況と当事者の講演会などは。

答 教育部長▼小学校では5・6年で、中学校では2年で学習をしている。

また、藤田医科大学看護師を講師に招いた講演を計画している。

問 女性検診受診率は。

答 健康福祉部長▼肺がん20・1%など、どのがんも県平均より高い受診率である。

問 医療用ウイッグなどの購入費を補助している自治体は。

答 名古屋市が行っており、岡崎市が10月から予定している。

問 医療用ウイッグや乳房補正具などの購入費補助を。

答 町長▼ウイッグほか様々な補助具の総合的な支援メニューの補助制度を検討し、提案していきたい。

ことば解説
【※AYA世代】
思春期・若年世代
15歳から39歳までの世代

重層的支援体制整備事業の創設

他自治体を研究しながら進める

問 令和3年4月地域住民の複雑化・複合した支援ニーズに対応する包括的な支援体制の重層的支援体制整備事業が創設された。その内容は。

答 健康福祉部長▼相談支援、参加支援、地域づくりに向けた支援の、3つを実施する事業で、全てが必要。

問 県内で事業を実施している自治体は。

答 岡崎市をはじめ5市、ほかに10市町が移行準備をしている。

問 重層的支援体制整備事業の創設を。

答 先行実施している自治体を研究しながら進めていきたい。

SDGsにおける健康づくりを

地域の協力を得ながら取り組む

問 SDGsの理念に基づき「3 すべての人に健康と福祉を」「15 陸の豊かさを守ろう」を問う。

答 SDGsに取り組んでいる町内企業は。

答 企画部長▼調査した21社では12社あり、さらに1社が取り組む予定。

問 里山を活かし、魅力を発信している組織はあるか。

答 健康福祉部長▼坂崎の自然を守る会、六栗の森の道整備隊が、精力的に活動している。

問 森林・里山を活かした新たなハイキングコースを整備し、SDGsの理念における健康づくりを進めていかないか。

答 地域の協力を得ながらSDGsの健康づくりにつなげていく。



17項目 169のターゲット